

木知原の今昔!

12号: 5・4・28

☞ 神社の説明 くだかったかな!?

いっぴく

しまししょう

いつもトリオで仲良し!

☞ 多忙な日々ですが時には足元の草花に目を落としてみましょう。ホッと心なごむことがあります。

(ナンテ! 道端の草花は“全て雑草”の感覚しかない私には似合わないセリフかな?)

☞ 今の季節の一例をあげてみましょう。年配の方なら一度は遊んだでしょう「シービービー」鳥の**エンドウ**です。でも失礼ですが鳥のエンドウは知っていても同じ所に**3種類**の仲間が共生していることを知っている方は少ないと思います? その3種類は以下です。足を止め是非ご覧ください。



烏豌豆

カラスノエンドウ

☞ 黒くなった**サヤ**が**カラス**に似ているからの名。
「ピーピー豆・シービービー」とも呼んでいる。

☞ 花は、畑作豌豆と同じで目立ちます。



スズメノエンドウ

☞ 葉・花・実が**鳥のエンドウ**より**小さい**ことからスズメの名がついた。(スズメは小型を言う)

☞ サヤが**一カ所**に多くついている。



雀豌豆

カスマソウ

☞ 葉・花・実が共に**鳥と雀のエンドウ**の**中間サイズ**であることからの名。

鳥-カ-雀-ス-間-マ=「カスマソウ」

☞ 花は茎の先に**二花**ついている。

✓ 高級料亭の春の一品とのこと。

食した記憶は無いが皆さんは如何ですか?



鳥雀間草

☞ カスマソウは小型のサヤエンドウに酷似でツヤもよく食すに柔らかそうですよ



☞ この**3種類**が絡み合う様に**一カ所**に**自生**

しているから不思議である。

☞ **鳥**は花が赤紫で目につくが

「雀とカスマ」は、**花色は淡く実も小さい**ので余り目立たないから見過ごしてしまうでしょう。

♥ 一見かわいそうな気もするが、これが**生きる知恵!!**ならばすごいと思うが素人でわかりません。

☞ **タネの数**は「**鳥**:7~8個」「**雀**:2 個」「**鳥雀間**:4~5個」で名の由来通りぴったりの「大・小・中」であるところがこれもまた面白いところである。

☞ **カスマソウ**は**じーっと**探さないと見つけにくいが一度見つけると次々と見つけられるからこれもまた不思議です。きっと“なるほど!”と思われそうですよ。

♥ 童心に返ってシービービーは如何ですか。乾燥気味の土手に繁茂しています。

機会を見付け「和名」の面白さも紹介できればと思っています

横山



烏豌豆

雀豌豆

鳥雀間草